

令和4年度基金運用益等活用事業（案）の変更内容について【概要】

1. グローバル人材育成事業～グローバルリーダーを育てるために～

内容拡充	基金充当額：13,377千円（前回会議：8,824千円） 4,553千円増
<p>Kyotango English Days や中学生海外派遣、英語力向上アプリの導入の次の段階として、中学3年生と高校2年生を対象とした「丹後学×STEAM教育推進事業」を追加。</p> <p>本市の中学生は、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果から、学力面では全国と同等の力を身につけることができている。一方、学習状況においては、学びへの意欲、自己肯定感の高さ、キャリアに対する目的意識について課題が見られる。</p> <p>また、近隣の高校との連携から、STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）分野への進学率が低く、高校進学時から理系離れの傾向が見られる。</p> <p>こうした状況を踏まえ、STEAM教育等の教科等横断的な学習をすすめ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、キャリアへの意識変革を図りたいと考える。</p> <p>中学3年と高校2年がともに、丹後が誇る機械金属産業、織物産業等の京丹後の良さを学び、各事業所の方のお話を聞き、地域の課題を考え、人間ならではの発想を大事にしながら、グローバルな視点から京丹後の未来をデザインする。そうした学びをプログラム化することで、国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる次世代のリーダーを育てていきたい。さらに、このプログラムをスタンフォード大学及びトロント大学の研究組織と連携し開発・運用し、「丹後学」の充実につなげていく。</p> <p>プログラムは、6日間の研修の中で、地元企業の協力を得ながら、地域の良さ・その本質を丁寧に掘り起こした後、しなやかな発想でまちの未来をデザインする。更に海外大学教授から広い視野での学びを得、クリエイティブな考え方を身につける内容となっている。</p> <p>研修でのグループワーク等を通じて把握される京丹後市の中高生に見られる課題等については、海外大学教授に分析・フィードバックいただくことで、京丹後市の良さを再発見するプログラムの改善はもちろんのこと、全ての子どもたちが学ぶ「丹後学」の内容充実につなげ、京丹後市全体の学校教育の質の向上と学習状況も含めた学力向上につなげていくこととする。</p>	

2. おとまち響プロジェクト推進事業（仮）

内容拡充	基金充当額：819千円（前回会議：270千円） 549千円増
<p>ピアノのペインティングイベントとお披露目を計画していた「街角ピアノ in 京丹後（仮）」の内容を、音楽活動ができる環境の整備（野外施設3か所に電源設備の整備）と街角ピアノの設置（公共施設2か所、公募2か所）と高校生と音楽関係者等による音楽活動推進の検討（かたり場の設置）に内容を修正するもの。</p>	

3. 2022年 第2回京丹後市民陸上記録会

新規追加	基金充当額：238千円（前回会議：提案なし） 238千円増
「京丹後はごろも陸上競技場」を活用し、あらゆるスポーツの基礎となる陸上競技の機会を提供し、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上に資することを目的に令和3年度に基金を活用して実施した本事業について、引き続き令和4年度も基金を活用して実施するもの。	